

平成 29 年 4 月 25 日

NPO 法人アサザ基金
代表理事 飯島 博 様

国土交通省霞ヶ浦河川事務所



霞ヶ浦水位運用試験の中止を求める申し入れ（回答）

平成 29 年 2 月 10 日付け申し入れについて、下記のとおり回答します。

記

1. 霞ヶ浦水位運用試験（冬季の水位上昇管理）の実施を中止すること。
2. できるだけ湖内に放射性物質が蓄積しないよう必要な調査を行い、逆水門の管理を見直すこと。

回答 1. 2

霞ヶ浦の水位運用は水利用と湖の水辺環境との共存を模索するために、降雨状況を踏まえ目標水位に運用幅を持たせ、必要以上の水位上昇を極力抑えるよう、きめ細かな運用を実施しているところであります。

なお、放射性物質の動向については、今後とも環境省が実施する放射性物質モニタリングの測定結果を注視して参ります。